

令和8年度 杉並区施策評価シートⅠ

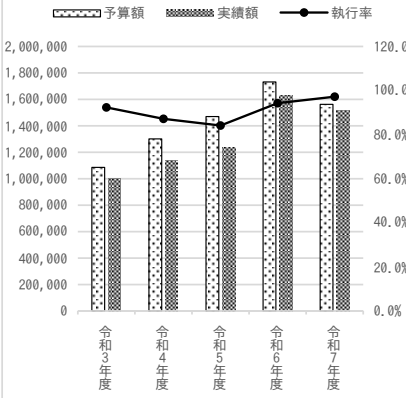
施策	09	質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進
分野	03	気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち
施策担当課	環境課	関係課

〇気候危機に立ち向かうための行動が区民一人ひとりに浸透し、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガスの削減が着実に進んでいます。
 〇再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー対策の推進により、エネルギーの有効利用が進むとともに、災害時等における安定的なライフラインの確保にも寄与しています。
 〇あらゆる世代の環境教育・環境学習をより充実させ、環境意識の醸成を図り、気候変動問題を自分事と捉え、区民一人ひとりがライフスタイルの一部として、環境に配慮した取組や自然との共生に向けた行動を継続的に実践しています。

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	再生可能エネルギー等の導入助成件数		件	計画	404	800	1,620	1,620	
				実績	773	1,205	1,507	-	
				達成率	191.3%	150.6%	93.0%	-	
	断熱改修等省エネルギー対策助成件数		件	計画	480	780	1,180	1,180	
				実績	569	794	1,446	-	
				達成率	118.5%	101.8%	122.5%	-	
	講座・講演会等の参加者数	環境活動推進センターで開催される講座・講演会等の参加者数	人	計画	2,063	1,935	1,784	2,100	
				実績	1,910	1,768	2,033	-	
				達成率	92.6%	91.4%	114.0%	-	
				計画					
				実績					
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	区内の温室効果ガス排出量	オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」算定数値（特別区協議会）	千t-CO ₂ eq	計画	1,409	1,329	1,249	1,169	令和12年度
				実績	1,636	1,571	1,430	-	848千t-CO ₂ eq
				達成率	116.1%	118.2%	114.5%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	区内の太陽光発電導入容量	資源エネルギー庁「固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備認定・導入量」	万kW	計画	2.7	4.03	4.56	5.09	令和12年度
				実績	2.94	3.48	4.26	-	7.2万kW
				達成率	108.9%	86.4%	93.4%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	環境に配慮した取組を行っている区民の割合	区民意向調査による	%	計画	90.5	92	93.5	95	令和12年度
				実績	84.3	85.9	87.3	-	100%
				達成率	93.1%	93.4%	93.4%	-	
	分類	利用者満足度指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,085,874	1,301,231	1,470,154	1,731,800	1,562,447	1,503,558
			実績額	1,002,916	1,134,386	1,236,927	1,632,692	1,519,019	-
			執行率	92.4%	87.2%	84.1%	94.3%	97.2%	-
	人件費	千円	予算額	391,365	382,648	445,993	450,157	442,876	486,818
			実績額	395,770	424,588	464,045	491,680	476,253	-
			執行率	101.1%	111.0%	104.0%	109.2%	107.5%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	1,477,239	1,683,879	1,916,147	2,181,957	2,005,323	1,990,376
			実績額	1,398,686	1,558,974	1,700,972	2,124,372	1,995,272	-
			執行率	94.7%	92.6%	88.8%	97.4%	99.5%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,118	2,003	10,991	119	22,327	22,258
			実績額	1,778	5,227	36,491	33,142	22,739	-
			執行率	159.0%	261.0%	332.0%	27850.4%	101.8%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		14.0%	13.8%	13.9%	-8.1%	-0.7%
			実績額		11.5%	9.1%	24.9%	-6.1%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	26.5%	22.7%	23.3%	20.6%	22.1%	24.5%
			実績額	28.3%	27.2%	27.3%	23.1%	23.9%	-

事業費の年度推移



特記事項

施策の成果	区内の温室効果ガス排出量の削減のため、区民、事業者等に対して再生可能エネルギー等の導入及び断熱改修等の省エネルギー対策助成を2,953件、LED照明機器切替助成を160件、電気自動車用充電設備導入助成を54件実施しました。併せて、区立施設における太陽光発電設備や蓄電池の設置を進めたほか、再生可能エネルギー電力調達の実施方針に基づき、一部の高圧受電施設において調達電力を再生可能エネルギーへ転換しました。 また、気候変動に対応した持続可能な社会を実現するには、区民一人ひとりの理解と協力が不可欠です。そのため、気候区民会議の意見提案を踏まえ、気候変動対策に主体的に取り組む将来世代の区民を一層増やすことを目的に、ユース（中高生世代）を対象としたワークショップ（全3回、延べ152名参加）を新たに開催するとともに、その取組を広く区民に発信すること等により、区民の気候変動対策に関する意識の醸成と行動変容の促進につなげました。
------------------	---

課題の分析	区内の温室効果ガス排出量は年々減少していますが、2030年度のカーボンハーフには、5年度の排出量から582千t-CO₂eqの追加削減が必要であり、現状の削減ペースでは達成が困難な状況です。 そのため、排出量の約半分を占める家庭部門を中心に具体的な削減策を示し、重点的に取り組む必要があります。併せて、区立施設における再生可能エネルギーの導入・利用と省エネルギー対策を一層推進することで、率先して温室効果ガスの排出削減に努めていくことが求められます。こうした取組に加え、エネルギー分野においては、ペロブスカイト太陽電池などの技術革新が進展していることから、これらの普及に向けた適切な対応を図るため、民間事業者等との連携体制を構築していくことが必要です。 加えて、カーボンハーフの達成及びゼロカーボンシティの実現に向けては、区民の意識醸成や行動変容をより一層進めていくことが不可欠であり、次世代を含む幅広い層への継続的な普及啓発を通じ、脱炭素に向けた意識と行動の定着を図る必要があります。
------------------	--

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第2段階評価時に入力
	今後の進め方	※第2段階評価時に入力

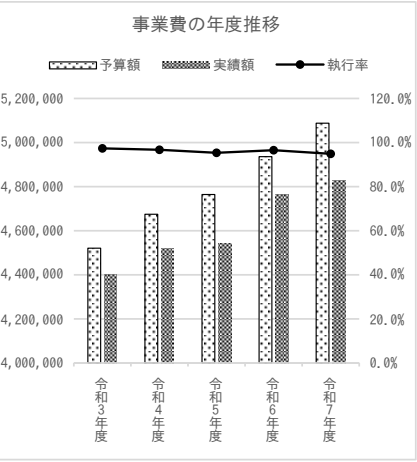
令和8年度 杉並区施策評価シート I

施策	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現
分野	03	気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち
施策担当課	ごみ減量対策課	関係課

施策目標	○食品ロスやワンウェイプラスチックの削減等、ごみの発生抑制に対する区民の意識が向上することで、ごみ・資源の総排出量が着実に減少しています。 ○区民によるごみ・資源の分別徹底やプラスチックの新たな資源化等により、環境負荷を軽減する３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の取組が一層推進されています。 ○ごみ出しに関するルールやマナーが守られるとともに、集積所におけるカラス対策の効果が上がることで、まちの美観が向上しています。 ○区で定めた喫煙ルールが広く区民に浸透していることに加え、喫煙場所のあり方の検討が進んでいます。また、アスベスト対策の強化により、建築物の解体工事などによるアスベストの飛散防止の徹底が図られています。
------	---

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	ごみの収集量	可燃、不燃、粗大の収集量	t	計画	95,667	94,227	93,928	93,557	
				実績	90,362	89,161	88,713	-	
				達成率	94.5%	94.6%	94.4%	-	
	資源の回収量	資源回収量（行政回収分）	t	計画	39,075	38,487	38,364	38,213	
				実績	28,982	28,305	27,649	-	
				達成率	74.2%	73.5%	72.1%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	ごみ・資源総排出量指数	ごみ・資源総排出量（年間可燃・不燃・粗大・資源回収量÷人口÷365日）について、令和2年度（2020年度）を100として比較		計画	95.5	94	92.5	91	令和12年度
				実績	89.7	87.3	85.4	-	85
				達成率	93.9%	92.9%	92.3%	-	
	分類 社会成果（課題）指標								
				計画	458	451	444	437	令和12年度
				実績	432	423	417	-	410g/人・日
	区民一人1日当たりのごみ排出量	年間可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ量÷人口÷365日	g/人・日	達成率	94.3%	93.8%	93.9%	-	
				計画	33,100	26,500	26,350	26,200	令和12年度
	可燃ごみに含まれる生ごみの量	家庭ごみ排出状況調査	t	実績	26,030	23,825	23,646	-	25,600t
				達成率	78.6%	89.9%	89.7%	-	
	分類 社会成果（課題）指標			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	4,520,876	4,674,787	4,764,371	4,936,062	5,087,840	5,523,732
			実績額	4,401,495	4,521,600	4,542,869	4,764,875	4,827,979	-
			執行率	97.4%	96.7%	95.4%	96.5%	94.9%	-
	人件費	千円	予算額	1,637,561	1,511,412	1,506,507	1,489,953	1,546,938	1,631,697
			実績額	1,587,046	1,542,176	1,517,680	1,579,839	1,660,687	-
			執行率	96.9%	102.0%	100.7%	106.0%	107.4%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	6,158,437	6,186,199	6,270,878	6,426,015	6,634,778	7,155,429
			実績額	5,988,541	6,063,776	6,060,549	6,344,714	6,488,666	-
			執行率	97.2%	98.0%	96.6%	98.7%	97.8%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,520	1,003	2,980	5,224	1,318	55,240
			実績額	55,589	60,613	64,708	71,349	81,877	-
			執行率	3657.2%	6043.2%	2171.4%	1365.8%	6212.2%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		0.5%	1.4%	2.5%	3.2%	7.8%
			実績額		1.3%	-0.1%	4.7%	2.3%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	26.6%	24.4%	24.0%	23.2%	23.3%	22.8%
			実績額	26.5%	25.4%	25.0%	24.9%	25.6%	-



特記事項

施策の成果	令和7年度のごみ収集量は88,713tとなり、令和6年度より448t減少しました。その結果、区民一人1日当たりのごみ排出量は417gとなり、令和6年度より6g減少する結果となりました。資源回収量は27,644tとなり、令和6年度より661tの減少となりました。ごみ・資源の総排出量は引き続き減少傾向が続いており、区民・事業者・区の協働による継続した取組の成果の表れと考えます。また、令和6年度の家庭ごみ排出状況調査の組成割合から推計した可燃ごみの中の生ごみの量は23,646 tとなり、令和6年度より179 t 減少しました。ワンウェイプラスチックの使用削減の取組では、イベント向けリユース容器貸出事業及び事業者向けリユース容器活用支援助成を引き続き行いました。 食品ロス削減対策として、「食べのこし0（ゼロ）応援店」は1,005店舗（新規75店舗含む）、食べ残しの持ち帰りを啓発する「mottECO（モッテコ）普及推進モデル事業」を113店舗で実施しました。さらに、フードドライブに提供された食品9,802個を区内子ども食堂等に提供したほか、フードシェアリングサービス「TABETE」の登録店舗は110店舗（16店舗増）となりました。こうした取組の結果、合計7t 以上の食品ロス削減につながりました。 資源化の促進の取組としては、令和7年度にダウン製品(衣類)の拠点回収を開始したほか、区役所に衣類回収ボックスを設置しました。また、令和8年4月からの区内全域でのプラスチック製品の分別回収、粗大ごみで収集した自転車等の資源化の準備を整えました。 安心・快適に暮らせる生活環境の確保として、公衆喫煙場所1か所を煙の漏れないコンテナ型に改善したほか、巡回指導の体制強化などの受動喫煙等の防止を図りました。また、工事現場等への立ち入り調査やパトロールのほか、区民等が家屋等の解体工事を行う際のアスベスト分析調査に対する補助制度により、アスベスト飛散防止に取り組みました。
--------------	---

課題の分析	快適で暮らしやすいまちと循環型社会を実現するためには、区民・事業者・区がそれぞれの責務と役割を果たし、協働していくことが不可欠です。 食品ロス削減については、「食べのこし0応援店」や「mottECO(モッテコ)普及推進モデル事業」に登録する店舗が増加していますが、さらに周知を進め、区内全域の店舗に対して食品ロス削減の取組を浸透させる必要があります。 また、8年4月から区内全域で実施している資源プラスチックの分別回収を含め、ごみ・資源の分別徹底について、区民等への周知・啓発活動をより一層強化し、ごみ減量及び資源化を促進していく必要があります。 生活環境の安全と安心の確保では、近年、路上喫煙やごみのポイ捨てなどは大幅に減少する一方で、受動喫煙に対する苦情は増加傾向にあることから、啓発活動や路上喫煙防止指導などを粘り強く続けることに加え、一層の分煙を図る取組が必要です。また、管理不適正な空地等への助言・指導や有害鳥獣・衛生害虫の防除については、民有地における対応や自然界の動物が対象であることなどから、すべてを防ぐことは困難ですが、寄せられる苦情・要望の聴き取り等を丁寧に行いながら改善や被害拡大の抑制に向けた取組を進めていく必要があります。そのほか、アスベスト分析調査に対する補助制度については、開始から2年となりますが、年間の補助目標20件に対して交付数が5件に留まっていることから、制度の一層の周知を図るとともに、交付要件の見直しを行うことで、利用促進を図る必要があります。
--------------	---

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第2段階評価時に入力
	今後の進め方	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区施策評価シート I

施策	11	グリーンインフラを活用した都市環境の形成
分野	03	気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち
施策担当課	みどり公園課	関係課 都市整備部管理課、土木計画課

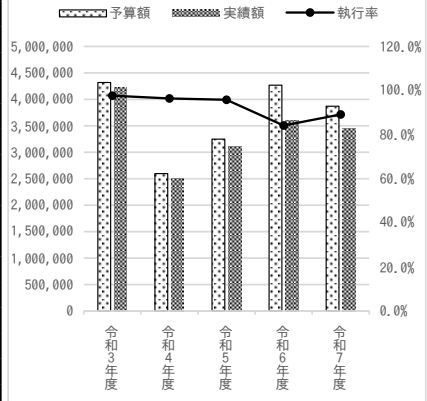
施策目標

○区民・事業者等と区が協力することによって、みどりの総量が増加するとともに、みどりの質も向上しています。
○グリーンインフラの整備が進むことによって、生物多様性の維持・確保や水害・浸水対策の機能向上など、自然環境が持つ多面的な効果を生かした都市環境が形成されています。
○みどり豊かな身近な憩いの場として、また、災害時に備えたオープンスペースとして、誰にとっても安全で快適に利用できる公園整備が進んでいます。

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標年度 目標値
活動指標	当該年度に新設、拡張整備した公園面積		㎡	計画	1,587	14,058	5,121	17,515	
				実績	1,587	14,062	5,383	-	
				達成率	100.0%	100.0%	105.1%	-	
	接道部緑化助成延長		m	計画	350	350	350	350	
				実績	127	44	77	-	
				達成率	36.3%	12.6%	22.0%	-	
	多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき改修した公園数		園	計画	6	9	6	5	
				実績	5	9	6	-	
				達成率	83.3%	100.0%	100.0%	-	
	みどりに触れ合えるイベントの開催数		回	計画	3	3	3	3	
				実績	3	3	3	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
成果指標	緑被率	みどりの実態調査	%	計画	22		22	24.1	令和12年度
				実績	21.99	21.99	21.99	-	24.7%
				達成率	100.0%	-	100.0%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	区民一人当たりの公園面積	年度当初の区内公園面積÷人口	㎡/人	計画	2.27	2.3	2.35	2.37	令和12年度
				実績	2.27	2.3	2.3	-	2.47㎡/人
				達成率	100.0%	100.0%	97.9%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	みどりの豊かさに満足する区民の割合	区民意向調査による	%	計画	88	88	89	89	令和12年度
				実績	84.4	88.6	88.5	-	90%
				達成率	95.9%	100.7%	99.4%	-	
	分類	区民満足度指標							
			計画						
			実績				-		
			達成率	-	-	-	-		
分類									
			計画						
			実績				-		
			達成率	-	-	-	-		
分類									
			計画						
			実績				-		
			達成率	-	-	-	-		
分類									

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	4,319,010	2,597,043	3,248,498	4,268,211	3,870,501	3,557,091
			実績額	4,218,579	2,504,042	3,112,437	3,591,666	3,450,736	-
			執行率	97.7%	96.4%	95.8%	84.1%	89.2%	-
	人件費	千円	予算額	600,551	597,249	573,057	599,171	648,796	659,916
			実績額	634,834	628,174	617,393	679,574	716,776	-
			執行率	105.7%	105.2%	107.7%	113.4%	110.5%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	4,919,561	3,194,292	3,821,555	4,867,382	4,519,297	4,217,007
			実績額	4,853,413	3,132,216	3,729,830	4,271,240	4,167,512	-
			執行率	98.7%	98.1%	97.6%	87.8%	92.2%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,244,412	244,601	0	0	11,300	58,251
			実績額	1,003,983	150,451	0	234,152	61,204	-
			執行率	80.7%	61.5%	-	-	541.6%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		-35.1%	19.6%	27.4%	-7.2%	-6.7%
			実績額		-35.5%	19.1%	14.5%	-2.4%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	12.2%	18.7%	15.0%	12.3%	14.4%	15.6%
			実績額	13.1%	20.1%	16.6%	15.9%	17.2%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度事業費の執行率82.6%についての主な要因は、公園整備・リニューアルにおいて、繰越明許費や契約落差金が発生したため。

施策の成果	「杉並区みどりの基本計画」の改定に向けては、グリーンインフラの活用により、自然の力を暮らしに活かす視点を新たに取り入れた改定案を作成し、区民等の意見提出手続を行いました。 公園整備について令和7年度は、荻外荘公園展示棟を開館したことや、すぎはち公園を新規開園したことで、公園面積は増えましたが、人口も増加したため、区民一人当たりの公園面積の増減はありませんでした。 公園改修については、「多世代が利用できる公園づくり基本方針」に基づき、5公園の改修工事を実施するとともに、令和8年度に改修する5公園について地域でのワークショップを開催し、区民とともに公園づくりを進めることができました。その他、柳窪公園、高円寺東公園、上荻窪児童遊園に雨水浸透施設を設置し、水害対策の強化を図りました。 みどりに関する取組では、建築行為等における緑化指導（1,824件）や接道部緑化の助成（77m）等によって、みどりの創出やみどりのネットワークの形成を推進しました。あわせて、保護指定制度による支援のほか、ボランティア等による屋敷林等の維持管理への支援によって民有のみどりの保全を図りました。また、みどりのイベントや落ち葉感謝祭などを開催し、区民のみどりへの関心を高めました。
-------	---

課題の分析	近年の夏の記録的な暑さや局地的な豪雨等の対策として、自然が有する機能を地域の課題解決へと活用するグリーンインフラの重要性は増えています。公園の整備・改修においては、グリーンインフラを実装できる重要な機会であるため、樹木を植栽することによる木陰創出や雨水浸透貯留施設の設置、区民の憩いの場の提供等を進めていく必要があります。また、倒木や枝折れによる事故を防止するため、公園や公共施設での樹木の点検も必要です。 区内のみどりの7割が民有のみどりであることから、その支援策の検討も重要となっています。みどりの基本計画の改定を契機として、より実効性の高い保全につながるよう、保護指定制度の指定要件や支援内容、運用方法の見直しを行う必要もあります。さらに、地域で屋敷林・農地等を守るためにボランティアによる落ち葉掃き等を行い、所有者の負担を軽減する取組も重要です。 みどりの基本計画の改定では、区民がみどりとのかかわりをじぶんごととして捉え、協働で守り、みどりの未来をつくることとしています。そのため、みどりの基本計画の改定内容について多くの区民に知ってもらう必要があります。雨庭など区民ができる取組を広めるとともに、豪雨対策で大きな役割を果たす善福寺川上流地下調節池については、都と緊密に連携しながら住民理解が得られるよう協力して事業を進める必要があります。
-------	--

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第2段階評価時に入力
	今後の進め方	※第2段階評価時に入力